

## 岡山県環境基本計画(エコビジョン2040)(仮称) 素案<概要>等について

環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱である「新岡山県環境基本計画(エコビジョン2020)」の計画期間が令和2年度をもって満了することから、今年度中に次期計画「岡山県環境基本計画(エコビジョン2040)」(仮称)を策定することとしており、このたび、素案を取りまとめた。

### I 素案の概要 ※素案本文は別冊のとおり

#### 第1章 基本的事項

##### 1 計画の目的と位置づけ

- ・ 県環境基本条例に基づく計画
- ・ 環境保全に関する総合的・長期的な施策の大綱

##### 2 計画の期間

- ・ 長期的な視点：令和22(2040)年頃  
※将来を展望した目標年次(計画の目指す姿を実現しようとする年次)
- ・ 短期的な取組：令和3(2021)年度～令和6(2024)年度  
※目指す姿の実現に向け、具体的な取組を進める期間

##### 3 計画の構成

第1章から第5章、参考資料

#### 第2章 環境を取り巻く情勢と課題

環境を取り巻く情勢と課題について、世界、国内、県内の場面ごとに整理し、本計画策定の背景を明らかにする。

##### 1 世界の情勢と課題

気候変動、海ごみによる海洋汚染、SDGsなど世界的な課題や潮流、認識や対策 など

##### 2 国内の現状と課題

人口の減少や地域的な偏在、頻発する大規模自然災害など環境を取り巻く現状と課題、環境保全に関する国の方針・計画 など

##### 3 県内の現状と課題

これまでの取組の状況やその成果、今後に向けての課題 など

##### \* 新興感染症の発生・拡大への対応

新型コロナウイルス感染症の影響やそれを踏まえた対応

#### 第3章 目指す姿

第2章で示した情勢と課題を踏まえながら、本県の目指す姿を提示するとともに、具体的な将来のイメージを掲げる。

## 1 目指す姿 「より良い環境に恵まれた持続可能な社会」 ～ 守ろう！つなごう！岡山の環境（仮案）～

### 2 将来の姿の具体的なイメージ

- ・ 気候変動対策が進んでいる社会
- ・ 資源循環の仕組みが構築された社会
- ・ 安全・安心な生活環境に囲まれた社会
- ・ 自然と共生する社会
- ・ 環境保全と経済発展が両立し、一人ひとりの意識や関わりのもと、誰もがより良い環境で暮らす社会

## 第4章 具体的な取組

第3章の目指す姿を実現するための「具体的な取組」と、努力目標としての「指標」を示す。「具体的な取組」は、次の6つの柱（4つの「基本目標」と2つの「横断的な視点」）ごとに、4年間で取り組む重点プログラムとして位置づける。 ※柱ごとの重点プログラム及び指標は、別紙一覧のとおり

### 1 基本目標

- ・ 気候変動対策（緩和・適応）の推進
- ・ 循環型社会の形成
- ・ 安全・安心な生活環境の保全と創出
- ・ 自然と共生した社会の形成

### 2 横断的な視点

- ・ 環境の未来を支える担い手づくり
- ・ 環境の未来を創る経済振興

## 第5章 計画の進め方

### 1 推進体制

- ・ 連携・協働の体制  
県環境審議会、庁内連絡会議、様々な主体との意見交換の場 など
- ・ 進捗管理と継続的改善 ～「短期的な取組」の推進～  
PDCAによる管理、毎年度の公表、状況に合わせた改善（新興感染症の流行等により取組の推進に支障が生じた場合は、指標の取扱い等について柔軟に対応。）
- ・ 計画の見直し ～「長期的な視点」の中間評価～  
長期的な視点（2040年頃）の中間地点（2030年頃）を目途に、地球温暖化の状況や国内外の情勢などを確認し、必要に応じて計画を見直す。

### 2 取組の内容に応じた実施方法等の工夫

デジタル化の進展や、新興感染症対策としての「新しい生活様式」も踏まえながら、インターネットの活用など、より実効性のある手段の導入等について、取組ごとに工夫する。

## 巻末：参考資料

- ・ 重点プログラムと指標の一覧

\*併せて、重点プログラムとSDGs(17のゴール)の関連を表示する。

- ・計画策定の経緯（審議会開催状況、県民等意識調査の結果概要等）
- ・計画の変遷 ・用語集 ・関係法令 など

## II 今後のスケジュール

令和2年11月20日 常任委員会への報告〈素案〉  
パブリック・コメント開始

令和3年 1月 常任委員会への報告〈パブリック・コメントの結果〉  
県環境審議会での審議〈最終案の取りまとめ〉  
2月 県環境審議会からの答申  
県議会（常任委員会、本会議）への報告  
3月 決定・公表

### < 参考 > 計画の全体像

#### 第1章 基本的事項

○計画の目的と位置づけ ○計画の期間 ○計画の構成

#### 第2章 環境を取り巻く情勢と課題

○世界の情勢と課題 ○国内の現状と課題 ○県内の現状と課題

#### 第3章 目指す姿

○計画により目指す将来の姿 ○目指す姿の具体的なイメージ

#### 第4章 具体的な取組

○基本目標〈4つの柱〉  
・気候変動対策（緩和・適応）の推進  
・循環型社会の形成  
・安全・安心な生活環境の保全と創出  
・自然と共生した社会の形成

○横断的な視点〈2つの柱〉  
・環境の未来を支える担い手づくり  
・環境の未来を創る経済振興

※柱ごとに重点プログラムと指標を位置づけ

#### 第5章 計画の進め方

○推進体制 ○取組の内容に応じた実施方法等の工夫

#### 参考資料



# 重点プログラム・指標一覧

## 基本目標Ⅰ 気候変動対策（緩和・適応）の推進

重点プログラム (23)	
項目	重点プログラム
新エネルギーの導入推進	太陽光発電の導入促進
	木質バイオマスのエネルギー利用推進
	情報の発信と地域資源を活かした取組の推進
	地域ぐるみで進めるスマートコミュニティの推進
省エネルギーの推進	オフィスビル等の省エネルギー化の推進
	県有施設等の省エネルギー化の推進
	省エネルギーに配慮した住宅の普及拡大
	省エネルギー型機器等の普及拡大
脱炭素社会に向けたライフスタイル・ビジネススタイルの定着促進	アースキーパーメンバーシップ制度の推進
	COOL CHOICE (賢い選択)の推進
	エコドライブの推進
	地球に優しい移動手段の選択
環境に配慮した交通環境の整備と活用の推進	信号灯器のLED化の推進
	県公用車へのエコカーの率先導入
	電気自動車等(EV・PHEV・FCV)の普及促進
	道路交通の円滑化の推進
温室効果ガスの排出抑制と吸収源対策の推進	温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による排出抑制
	フロン類の排出抑制の推進
	公益的機能を高めるための森林整備の推進
	県民参加による森づくりの推進
	都市緑化等の促進
気候変動への適応	適応計画の策定と推進<新>
	適応の推進体制の整備<新>

指標 (15)		
指標	現状 2019	努力目標 2024
県内に設置された太陽光発電総設備容量(メガワット、累計)	1,802	3,500
新エネルギー関係セミナーへの参加者数(人、累計)	2,889	3,500
新エネルギーの導入を核とした地域づくりに取り組む地域の数(箇所、累計)	9	19
県の事務事業から生じる温室効果ガス排出量(t-CO2)	59,795	73,675
家庭用燃料電池の導入台数(台、累計)<新>	2,096	2,600
アースキーパーメンバーシップ会員数(人・事業所、累計)	13,537	16,000
おかやまCOOL CHOICE! 宣言企業・団体数(件、累計)<新>	272	300
エコドライブ宣言者数(人、累計)	35,456	47,000
信号灯器のLED化率(%)	67.1	87
電気自動車等(EV・PHEV・FCV)の普及台数(台、累計)	5,133	8,600
主要渋滞箇所数(箇所)	50	45
信号機の高性能化整備数(基、累計)	504	630
高度化光ビーコン整備数(基、累計)	569	790
岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の対象となる事業所の温室効果ガス排出量(万t-CO2)<新>	3,276	2,895
森づくり活動への参加企業数(企業、累計)	26	28

# 重点プログラム・指標一覧

## 基本目標Ⅱ 循環型社会の形成

重点プログラム (21)	
項目	重点プログラム
循環型社会実現に向けた意識改革と実践	「おかやま・もったいない運動」の推進
	プラスチック3Rの推進
	食品ロス削減の推進
	循環資源マッチングシステムの利用促進
一般廃棄物の3Rの推進	循環型社会づくりに向けた処理システムの構築
	ごみの分別収集の徹底
	リサイクル関連法の周知・徹底
産業廃棄物の3Rの推進	排出事業者に対する指導・助言
	リサイクル関連法の周知・徹底
	3Rに関する広域ネットワークの形成
	公共工事に係る廃棄物の再資源化
	循環型社会形成推進モデル事業の推進
廃棄物の適正処理の推進	一般廃棄物処理施設の計画的な整備の促進
	産業廃棄物処理業者等に対する監視・指導
	PCB廃棄物の計画的な処理の推進
	農業用使用済みプラスチックの適正処理の推進
	産業廃棄物の広域的な移動に対する対応
不法投棄等の根絶と環境美化の推進	不法投棄等の防止と早期発見
	海ごみ対策の推進
	地域の活動の促進
災害廃棄物に対する備え	円滑な処理体制づくり

## 指標 (6)

指標	現状	努力目標
	2019	2024
循環資源登録数(件)《新》	441	470
一般廃棄物の排出抑制・資源化率(%)	96.3	97
産業廃棄物の排出抑制・資源化率(%)	95.6	96
建設廃棄物(アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥)の再資源化率(%)《新》	74.8~100	100
農業用使用済みプラスチックのリサイクル処理率(%)	15.6	40
災害廃棄物処理計画策定市町村数(市町村)	14	27

# 重点プログラム・指標一覧

## 基本目標Ⅲ 安全・安心な生活環境の保全と創出

重点プログラム (19)	
項目	重点プログラム
大気環境の保全	工場・事業場対策の推進
	大気汚染防止夏期対策の実施
	微小粒子状物質(PM2.5)対策の推進
	ディーゼル自動車粒子状物質削減対策の推進
水環境の保全	生活排水対策の推進
	工場・事業場対策の推進
児島湖水質保全対策の推進	児島湖再生の推進
	児島湖流域下水道事業の推進
瀬戸内海の保全と再生	沿岸域の環境の保全、再生及び創出
	水質の保全及び管理
	瀬戸内海の自然景観及び文化的景観の保全
	水産資源の持続的な利用の確保
騒音・振動・悪臭の防止	道路交通、航空機、新幹線鉄道の騒音・振動対策
	騒音・振動・悪臭に係る規制地域の適切な指定
土壌・地下水汚染の防止	工場・事業場対策の推進
有害化学物質による環境汚染の防止	有害大気汚染物質対策の推進
	有害化学物質対策の推進
	アスベスト対策の推進
環境放射線の監視	環境放射線の監視測定の実施

指標 (10)		
指標	現状	努力目標
	2019	2024
工場・事業場の排ガス等基準適合率(%)	98	100
オキシダント情報等メール配信登録者数(人、累計)	16,894	22,000
PM2.5環境基準達成率(%)	55.7	85
ディーゼル自動車粒子状物質対策済率(%)	72.8	80
汚水処理人口普及率(%)	87.3	92.1
工場・事業場の排水基準適合率(%)	93.3	98
水質目標値(COD:mg/L)	8.1	7.2
環境用水の導入量(m3/S)《新》	0	2.4
自然海岸を活用した環境学習の回数(回)	5	5
有害大気汚染物質等の環境基準及び指針値達成項目の割合(%)《新》	93	100

# 重点プログラム・指標一覧

## 基本目標Ⅳ 自然と共生した社会の形成

重点プログラム (16)	
項目	重点プログラム
自然公園等の保護と利用促進	自然公園等の魅力向上に向けた取組
	自然と調和した開発の指導
野生生物の保護と適正な管理の推進	レッドデータブックの充実と活用
	希少野生動植物の保護
	鳥獣保護対策の推進
	特定鳥獣保護・管理対策の推進
	狩猟者の確保
	外来生物に関する普及啓発等の推進
自然とのふれあいの推進	自然環境学習等の推進
	自然とふれあえる体験の場や機会の充実
里地・里山の保全	農地・農業用水等の保全
	都市と農村との交流推進
水とみどりに恵まれた環境の保全と創出	森林の整備による快適な環境の保全
	都市と近郊のみどりの創出
	緑化推進体制の充実
	全国植樹祭の開催を通じた緑化意識の醸成<<新>>

指標 (6)		
指標	現状	努力目標
	2019	2024
自然公園利用者数(万人)	1,100	1,210
自然保護センターの利用者数(人)	32,438	40,000
長距離自然歩道の利用者数(万人)	143	160
身近な自然体験プログラムの参加者数(人)	28,636	30,000
おかやま移住候補地体感ツアー(回)<<新>>	2	2
少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えの割合(%)	96.6	100

# 重点プログラム・指標一覧

## 横断的な視点Ⅰ 環境の未来を支える担い手づくり

重点プログラム (10)	
項目	重点プログラム
協働による環境保全活動の促進	環境パートナーシップの形成促進
	地域課題解決ビジネスの支援
	アダプト事業の推進
	イベント等のエコ化の推進
環境学習・環境教育の充実	環境学習の機会の提供
	子どもたちの環境活動への支援
	スーパーエンバイロメントハイスクールの指定
	環境学習指導者の育成・活用
景観の保全と創造	景観行政団体となる市町村の拡大と連携強化
	快適な生活環境の保全

指標 (4)		
指標	現状 2019	努力目標 2024
グリーンイベント登録数(件)《新》	17	30
環境学習出前講座・環境学習エコツアー参加人数(人)	27,593	20,000以上
環境学習指導者登録数(人、累計)《新》	108	130
景観行政団体の数(市町村)	9	12

# 重点プログラム・指標一覧

## 横断的な視点Ⅱ 環境の未来を創る経済振興

重点プログラム (14)	
項目	重点プログラム
環境等関連分野の産業の振興	中小企業の新エネルギー設備導入等の支援
	新エネルギー分野等に関する新技術等の研究開発の支援
	電気自動車等（EV・PHEV・FCV）の普及と技術開発
	循環型産業クラスターの形成
	木質バイオマスの活用推進
	総合特区制度を利用した高効率・省資源型コンビナートの実現
環境と好循環した農林水産業の振興	環境保全型農業の推進
	魅力ある林業の実現
環境保全に貢献する認証・認定制度の普及促進	環境マネジメントシステムの普及拡大
	「岡山県エコ製品」の認定・周知
	「岡山エコ事業所」の認定・周知
環境に配慮した事業者の育成・拡大	事業者による環境コミュニケーションの推進
	環境影響評価の適正な実施
	「岡山県グリーン調達ガイドライン」に基づく取組の推進

指標 (5)		
指標	現状 2019	努力目標 2024
循環型産業クラスター形成促進事業を活用した製品開発等への取組の数(件、累計)	40	55
エコアクション21認証・登録事業者の数(事業者、累計)	110	130
岡山県エコ製品の認定品目数(品目、累計)	372	380
岡山エコ事業所の認定件数(件、累計)	256	260
岡山県グリーン調達ガイドラインに基づく調達目標を設定している品目のうち目標を達成した品目の割合(%)<新>	95	100